

## オルセー美術館展

19世紀後半は、産業・技術が著しく発展を遂げ、瞬く間に社会を変えていった時代でした。鉄道の普及、巨大建築物の出現、電気による照明……。都市は新しい文明により大きく変貌、また人口の集中により巨大化し、近代都市へと生まれ変わりました。

中でも、他を圧倒的に凌駕し、世界でもっとも華やかな近代都市となったのはパリでした。オペラ座に象徴される都市の大改造、幾度も催され、エッフェル塔をはじめ様々な建築物を生んだ万国博。19世紀・近代の"首都"となったパリは、街の中に新しい美を形成し、人々の風俗と生活も大きく変えていきました。そして、この近代という時代の中で、都市そのものが芸術家たちの創作意欲を刺激し、印象派をはじめ、人類史上もっとも豊かで革新的な芸術の数々を誕生させるに至ったのです。

多彩で華麗な近代都市・パリ誕生の様相を、この時代の豊かな芸術を通して総合的に掲示する。それが"モデルニテ ―パリ・近代の誕生"の言葉に凝縮された、本展のコソセプトでした。これは美術館自体がこのコソセプトを具現化しているオルセー美術館のコレクションによって初めて実現したものであり、またオルセー美術館の魅力を最大限に引き出すテーマだったといえるでしょう。



※この図録は現在当館では扱っておりません。

会期／1996年4月13日（土）～6月23日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室、特別展示室2、ギャラリー、ホール

主催／神戸市、神戸市立博物館、オルセー美術館、日本経済新聞

学術協力／国立西洋美術館

後援／外務省、文化庁、フランス大使館、（財）西洋美術振興財団、テレビ大阪

協賛／アサヒビール、資生堂、第一勧業銀行、日本アイ・ビー・エム、野村証券

特別協力／安田火災海上保険

協力／日本航空、日本通運

開催日数／64日

入館者数／459,715人（7,183人／日）

出品件数／179点